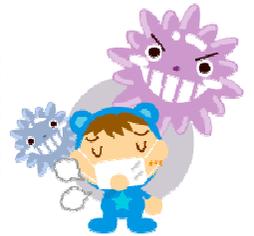


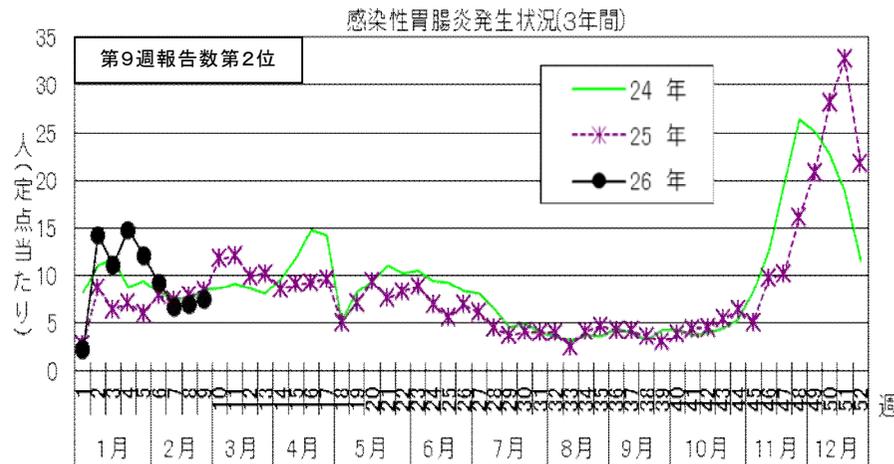
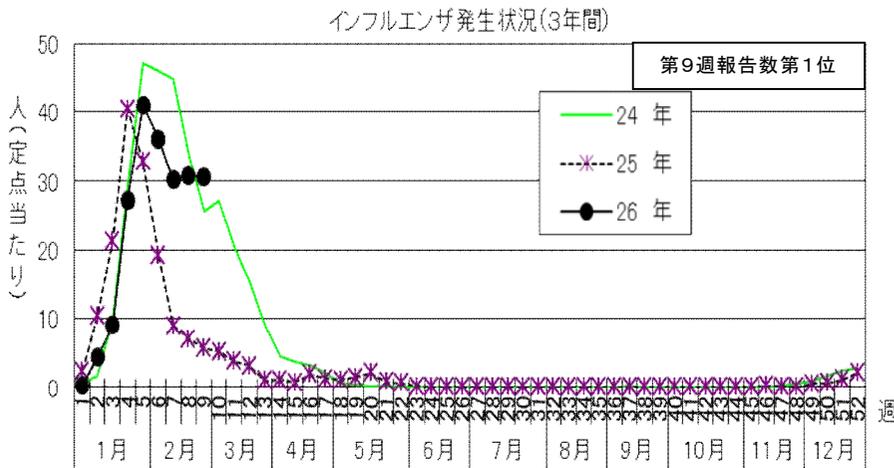
今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



平成26年2月24日（月）～平成26年3月2日（日）〔平成26年第9週〕の感染症発生状況

第9週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 でした。
 インフルエンザは定点当たり30.63人と前週（30.91）より患者報告数はわずかに減少しましたが、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎は定点当たり7.33人と前週（6.88）より患者報告数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

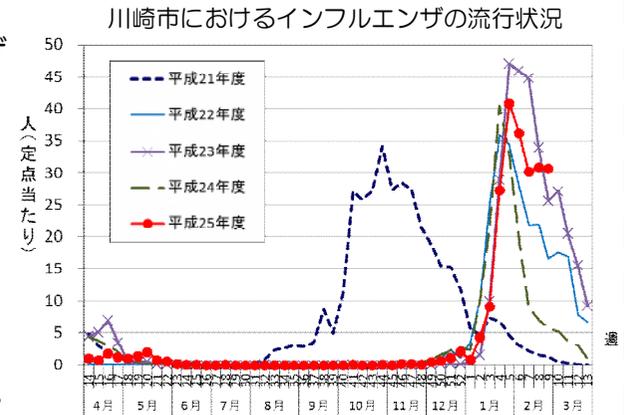


インフルエンザの勢い止まず！学校等は要注意

川崎市におけるインフルエンザ患者報告数は、第5週（定点当たり40.85人）をピークに減少傾向にありましたが、第7～9週にかけて、高いレベルで横ばい状態が続いています。

また、2月以降は、B型インフルエンザが多く検出されています。A型インフルエンザに一度感染しても、B型インフルエンザに再度感染することもありますので、引き続き注意が必要です。

インフルエンザを予防するためには、こまめな手洗いや咳エチケット（マスクの着用）などを徹底することが重要です。



市内における学校等での発生状況

市内の学校や幼稚園においても、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の臨時休業が続いています。特に、小学校において割合が高いので御注意ください。

